



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・経営戦略担当 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(3454)4907
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年9月期第1四半期 | 3,449 | 5.4 | △430 | — | △364 | — | △461 | — |
| 29年9月期第1四半期 | 3,273 | 39.9 | 278 | 800.5 | 302 | 301.5 | 209 | 89.3 |

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 △463百万円(—%) 29年9月期第1四半期 213百万円(95.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年9月期第1四半期 | △5.45 | — |
| 29年9月期第1四半期 | 2.53 | 2.51 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年9月期第1四半期 | 20,085 | 15,714 | 78.1 |
| 29年9月期 | 18,858 | 15,655 | 82.9 |

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 15,688百万円 29年9月期 15,626百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年9月期 | — | — | — | — | — |
| 30年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,000 | 29.8 | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 平成30年9月期におきましては、中長期的な事業基盤強化を目的として、広告宣伝活動及び研究開発活動等への投資を積極的に行う方針です。特に定期購入顧客を獲得するための広告宣伝投資を実施するタイミングや規模については、投資効率を追求しながら機動的に判断する必要があるため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についての予想は開示しない方針とさせていただきます。詳細は3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年9月期1Q | 84,832,036株 | 29年9月期 | 84,389,616株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年9月期1Q | 137,901株 | 29年9月期 | 137,901株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年9月期1Q | 84,694,135株 | 29年9月期1Q | 82,695,239株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、参入企業の増加により企業間の競争は厳しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、ユーグレナを利用したバイオ燃料の開発、ユーグレナの食品としての新機能的な解明、低コスト化へ向けたユーグレナ自体の改良技術に関する研究開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、前期から引続き定期顧客拡大に努め、売上高は3,449,697千円（前年同期比5.4%増）となりました。一方で中長期的な収益が見込まれる直販化粧品の定期顧客獲得のために、戦略的に広告宣伝活動を強化しており、営業損失は430,132千円（前年同四半期は営業利益278,294千円）、経常損失は364,320千円（前年同四半期は経常利益302,338千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は461,890千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益209,434千円）となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間から当第1四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

| | 前第1四半期 連結会計期間 | 前第2四半期 連結会計期間 | 前第3四半期 連結会計期間 | 前第4四半期 連結会計期間 | 当第1四半期 連結会計期間 |
|------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高 (千円) | 3,273,006 | 3,355,294 | 3,603,410 | 3,654,891 | 3,449,697 |
| 営業利益又は営業 損失(△) (千円) | 278,294 | △1,159 | 143,491 | 530,310 | △430,132 |
| 経常利益又は経常 損失(△) (千円) | 302,338 | 143,922 | 168,949 | 592,024 | △364,320 |

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の食品分野においては、自社製品の定期購入顧客拡大のための販売体制を強化するとともに、グループ会社間で物流センター等のインフラを共有するなど、販売コストの削減に努めました。さらに、当第1四半期連結会計期間において、遺伝子検査サービスのノウハウ及びシステム等のバイオインフォマティクス技術を有する株式会社ジーンクエストを完全子会社化しております。

ヘルスケア事業の化粧品分野においては、自社のスキンケア化粧品ブランド「one」の販売が好調であることから、同ブランドの定期顧客基盤を強化するため積極的な広告宣伝活動を実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、連結売上高3,442,197千円（前年同期比5.2%増）、セグメント損失は122,867千円（前年同四半期はセグメント利益539,038千円）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に研究開発活動を継続しております。

当第1四半期累計期間においては、2018年10月に完成を予定しているバイオジェット・ディーゼル燃料実証製造プラントの運転開始に向けて体制の整備を進めております。また、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、多気クリスタルタウン（三重県多気郡多気町）において燃料用微細藻類培養プールを建設し、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、連結売上高7,500千円、セグメント損失は95,103千円（前年同四半期はセグメント損失83,348千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,085,816千円となり、前連結会計年度末と比較して1,227,755千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社の株式会社ジーンクエストの資産の受入及びのれん648,904千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から1,168,033千円増加し、4,370,825千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から59,722千円増加し、15,714,990千円となりました。この結果、自己資本比率は78.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期につきましては、当連結会計年度末までに蓄積した20万人を超える直販の定期購入顧客から生み出される収益を原資として新たな広告宣伝投資を積極的に実施し、化粧品ブランド「one」を中心としたスキンケア領域の定期購入顧客数の成長を加速化することで、売上高は18,000百万円（前期比29.8%増）を見込んでおります。また、中長期的な成長に向けた事業基盤強化を目的として、定期購入顧客の獲得に向けた広告宣伝投資に加えて、ユーグレナの大規模・低コスト生産技術の確立、バイオ燃料製造実証プラントの建設・運営体制構築、ならびにバイオインフォマティクス領域における新規事業創出等にも積極的に投資を行う方針です。特に定期購入顧客を獲得するための広告宣伝投資を実施するタイミングや規模については、投資効率を追求しながら短期的な利益に囚われず機動的に判断する必要があるため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想は開示していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,152,864 | 7,421,488 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,260,296 | 1,210,535 |
| 有価証券 | 200,200 | 200,060 |
| 商品及び製品 | 1,107,421 | 1,180,743 |
| 仕掛品 | 30,603 | 43,347 |
| 原材料及び貯蔵品 | 423,519 | 538,757 |
| 繰延税金資産 | 118,169 | 55,523 |
| その他 | 354,143 | 448,150 |
| 貸倒引当金 | △6,513 | △20,004 |
| 流動資産合計 | 10,640,705 | 11,078,602 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,690,964 | 1,713,226 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,012,749 | 1,018,244 |
| 工具、器具及び備品 | 285,334 | 301,076 |
| 土地 | 900,520 | 900,520 |
| リース資産 | 32,455 | 32,455 |
| 建設仮勘定 | 3,670,740 | 3,831,398 |
| 減価償却累計額 | △1,567,372 | △1,634,458 |
| 有形固定資産合計 | 6,025,392 | 6,162,463 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,162,283 | 1,760,291 |
| その他 | 464,261 | 451,412 |
| 無形固定資産合計 | 1,626,545 | 2,211,703 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 180,075 | 240,652 |
| 差入保証金 | 307,203 | 311,255 |
| 繰延税金資産 | 21,265 | 22,194 |
| その他 | 56,872 | 58,945 |
| 投資その他の資産合計 | 565,417 | 633,047 |
| 固定資産合計 | 8,217,355 | 9,007,214 |
| 資産合計 | 18,858,060 | 20,085,816 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 288,631 | 352,508 |
| 短期借入金 | 164,593 | 244,992 |
| 未払金 | 734,782 | 1,008,341 |
| リース債務 | 1,805 | 1,282 |
| 未払法人税等 | 289,918 | 59,008 |
| 賞与引当金 | 31,520 | 21,546 |
| 資産除去債務 | 19,685 | 19,696 |
| その他 | 173,531 | 249,569 |
| 流動負債合計 | 1,704,468 | 1,956,944 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,123,297 | 2,046,067 |
| リース債務 | 2,019 | 1,755 |
| 退職給付に係る負債 | 9,012 | 8,797 |
| 資産除去債務 | 33,932 | 33,948 |
| 繰延税金負債 | 330,061 | 323,313 |
| 固定負債合計 | 1,498,323 | 2,413,881 |
| 負債合計 | 3,202,792 | 4,370,825 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,424,242 | 5,424,242 |
| 資本剰余金 | 7,568,557 | 8,092,383 |
| 利益剰余金 | 2,876,847 | 2,414,956 |
| 自己株式 | △231,396 | △231,396 |
| 株主資本合計 | 15,638,251 | 15,700,185 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 108 | △88 |
| 為替換算調整勘定 | △12,226 | △11,170 |
| その他の包括利益累計額合計 | △12,117 | △11,258 |
| 新株予約権 | 17,232 | 16,183 |
| 非支配株主持分 | 11,902 | 9,879 |
| 純資産合計 | 15,655,268 | 15,714,990 |
| 負債純資産合計 | 18,858,060 | 20,085,816 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,273,006 | 3,449,697 |
| 売上原価 | 816,318 | 841,062 |
| 売上総利益 | 2,456,688 | 2,608,635 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,178,393 | 3,038,768 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 278,294 | △430,132 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,579 | 799 |
| 助成金収入 | 2,245 | 42,489 |
| 受取手数料 | 7,778 | 8,316 |
| 持分法による投資利益 | 3,083 | 10,049 |
| その他 | 4,949 | 5,339 |
| 営業外収益合計 | 24,636 | 66,995 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 589 | 628 |
| 株式交付費 | — | 104 |
| その他 | 2 | 450 |
| 営業外費用合計 | 591 | 1,183 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 302,338 | △364,320 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | — | 1,048 |
| 特別利益合計 | — | 1,048 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 302,338 | △363,272 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 93,230 | 48,334 |
| 法人税等調整額 | △1,191 | 53,088 |
| 法人税等合計 | 92,039 | 101,422 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 210,299 | △464,695 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 865 | △2,804 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 209,434 | △461,890 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日) |
|--------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失 (△) | 210,299 | △464,695 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 953 | △197 |
| 為替換算調整勘定 | 2,394 | 1,838 |
| その他の包括利益合計 | 3,347 | 1,640 |
| 四半期包括利益 | 213,647 | △463,054 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 212,672 | △461,032 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 974 | △2,022 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|-----------|----------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ヘルスケア事業 | エネルギー・ 環境事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,273,006 | — | 3,273,006 | — | 3,273,006 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,273,006 | — | 3,273,006 | — | 3,273,006 |
| セグメント利益又は損失(△) | 539,038 | △83,348 | 455,689 | △177,395 | 278,294 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,395千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、株式会社クロレラサプライを平成28年12月1日付で子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、255,760千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年10月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|-----------|----------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ヘルスケア事業 | エネルギー・ 環境事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,442,197 | 7,500 | 3,449,697 | — | 3,449,697 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,442,197 | 7,500 | 3,449,697 | — | 3,449,697 |
| セグメント損失(△) | △122,867 | △95,103 | △217,970 | △212,162 | △430,132 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△212,162千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、株式会社ジーンクエストを平成29年10月1日付で子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、648,904千円であります。